

2018.9.20 九州未来土木 in 博多

～人と自然とやりがいの共存を目指して～
「災害と土木」、「技術者と科学者」「土木の学習と哲学」

【主催者挨拶】

以下の挨拶文が第一回未来土木の趣旨でした。

第二回未来土木の趣旨も同じになります。

コイシ代表として、これからの世代の土木を想う時
少しでも土木が良くなっていくには、今の国交省、県土木、市町村の土木だけでなく、
自然の仕組みを知っている方々の望む土木が生まれていくと、
日本国土を創っていく新たな、『未来土木』になっていくと感じています。

環境省に取り組んでもらいたい土木
文科省に取り組んでいただきたい土木
そして、国交省の土木

日本全国の国土創りは、360度視点で考えていく必要があると思っています。

そして、その行動が地方創生の土台になっていき、

地場建設業に若く、夢ある人たちが集まって、

活気ある、やりがいある未来の建設業になっていくと信じています。

今日のこの会「2.07 未来土木 ～人と自然とやりがいの共存を目指して～」がきっかけとなり、
国をも動かすものになっていくことを念じ、挨拶とさせていただきます。

平成 29 年 2 月 7 日

株式会社 コイシ

第一回を振り返り、コイシは開催しただけの会社であったとの気づきから、

第二回は「実」へのチャレンジにつなげるため、

土木が少しでも良くなっていくために、各方面で現在どのような取り組みが行われているのかを
お聴きしたいと考えました。

将来の土木を担っていく若者に、いかにやりがいを抱いていただくかも大切だと感じており、
土木の教育、土木のやりがい、土木の哲学、そんなお話もお聴きできたらと思っています。

この度、国（環境省・国交省）の皆様にもご参加いただき、正直、驚いています。

今回の講演を快くお受けいただいた演者のみなさま、

各方面で多くのお力添えをいただいたみなさまに、深く感謝申し上げます。

本日お集りのみなさまとの出会いが『未来土木』への第一歩に繋がりますことを祈念しております。

平成 30 年 9 月 20 日

株式会社 コイシ
代表取締役 小原文男